

令和2年千葉県毎月常住人口調査報告書（年報）の概要
 県人口 6,284,955人(令和3年1月1日現在)

人 口 室
 電話 043-223-2223

1. 人口総数

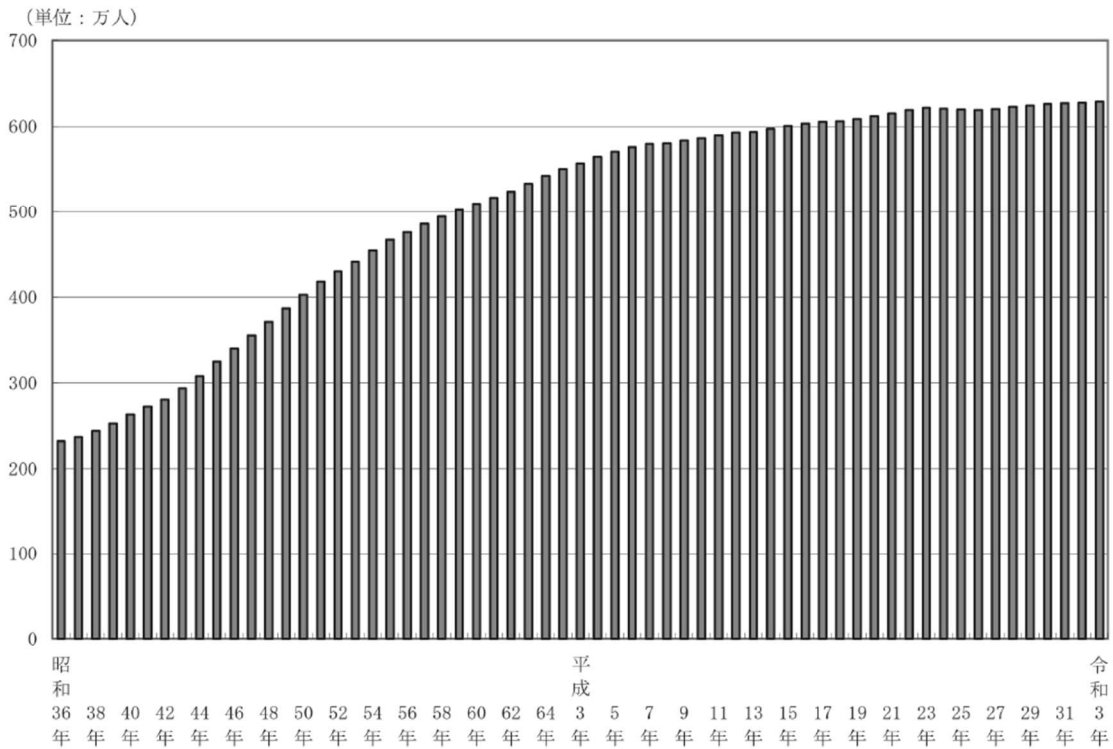
県人口 628 万人

令和3年1月1日現在の本県の人口は6,284,955人で、前年人口の6,278,741人に比べ6,214人、率にして0.10%増加した。本県の人口は、大正9年10月1日現在(国勢調査)1,336,155人で、その後増加を続け、昭和49年11月1日現在では400万人を超えて、4,002,808人となった。さらに、昭和58年10月1日現在では500万人を超え5,002,542人となり、平成14年9月17日に600万人を突破した。平成23年に初めて減少に転じ、平成25年まで3年連続で減少したが、平成26年に再び増加に転じ、以降は令和2年まで引き続き増加している。

令和2年国勢調査によると、本県の人口は、6,284,480人で全国第6位となっている。

また、本県の外国人数は令和3年1月1日現在166,286人で、前年の138,673人に比べ27,613人、率にして19.91%増加しており、県人口の2.6%を占めている。

図1 千葉県人口の推移(昭和36年~令和3年、各年1月1日現在)



千葉市人口 98 万人
 県人口の 15.5%を占める

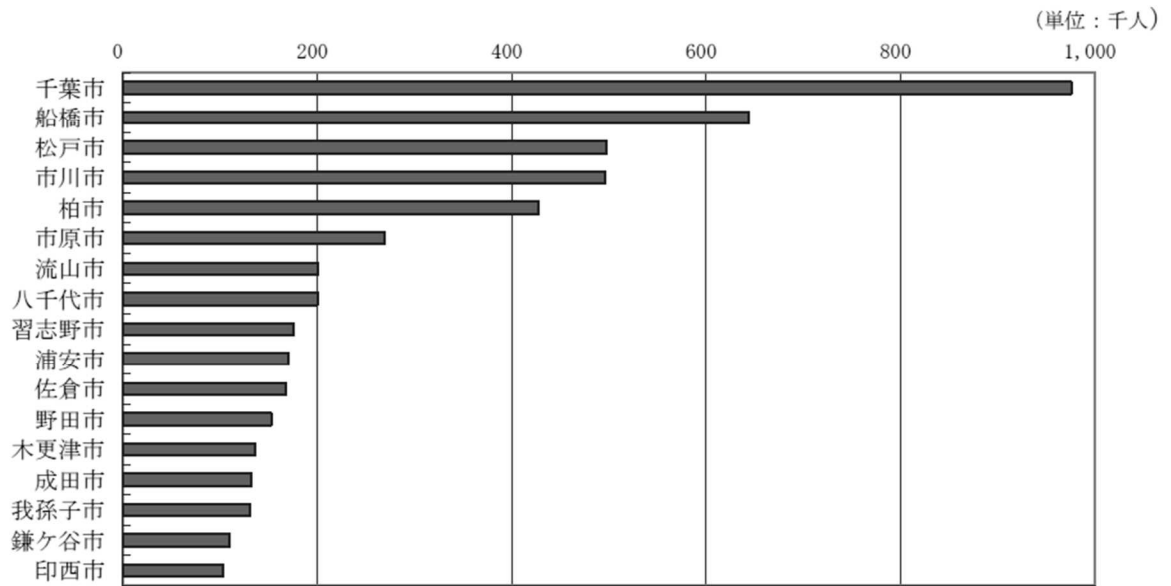
令和3年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部(37市)のうち10万人以上の市は17市あり、そのうち千葉市が975,705人(県人口に占める割合15.5%)で最も多く、郡部人口196,502人(同3.1%)の約5倍となっている。以下、船橋市643,691人(同10.2%)、松戸市497,908人(同7.9%)、市川市496,322人(同7.9%)、柏市427,416人(同6.8%)の順で続き、この5市で県人口の48.4%を占めている。

郡部(16町1村)では、横芝光町が22,056人(同0.4%)で最も多く、以下、酒々井町20,705人

(同 0.3%)、栄町 20,076 人 (同 0.3%)、九十九里町 14,594 人 (同 0.2%)、長生村 13,766 人 (同 0.2%) の順となっている。

また、本県の外国人人口を市町村別にみると、千葉市が 29,016 人 (県外国人人口に占める割合 17.4%) で最も多く、以下、船橋市 19,442 人 (同 11.7%)、市川市 18,530 人 (同 11.1%)、松戸市 17,641 人 (同 10.6%)、柏市 9,883 人 (同 5.9%) の順となっている。

図2 10万人以上の市（令和3年1月1日現在）



2. 人口増減

人口増減数 6 千人
増減率 0.10%

令和2年中の本県の人口増減は、増減数 6,214 人、増減率 0.10%で、前年 (8,623 人、0.14%) より減少した。うち、外国人人口増減は、増減数 27,613 人、増減率 19.91%で、前年 (11,644 人、9.17%) より増加した。

近年の人口増減率の推移をみると、昭和 42 年から 49 年までは 4%以上の増加率であったが、昭和 57 年からは 1%台で推移、平成 5 年には 1%を割った。その後、平成 23 年に初めてマイナスに転じて以降、平成 25 年 (-0.02%) までマイナスが続いたが、平成 26 年に増加に転じた。

自然増減数は減少

令和2年中の自然増減は、増減数 -20,832 人 (出生 41,664 人、死亡 62,496 人) で、前年の -20,031 人 (出生 42,133 人、死亡 62,164 人) に比べ出生が 469 人減少し、死亡が 332 人増加して自然増減数は 801 人減少した。うち、外国人の自然増減は、増減数 1,044 人 (出生 1,282 人、死亡 238 人) で、前年の 1,001 人 (出生 1,250 人、死亡 249 人) に比べ出生が 32 人増加し、死亡が 11 人減少して自然増減数は 43 人増加した。

近年の自然増減を増減率 (各年 1 月 1 日現在人口に対する自然増減総数の割合) でみると、昭和 42 年から 54 年までは 1%以上の増加率であったが、昭和 55 年に 1%を割り、平成元年以降は 0.5%を下回って推移していたが平成 23 年に初めてマイナスに転じ、令和 2 年も -0.33%となった。

社会増減数は減少

令和2年中の社会増減は、増減数27,046人(転入184,756人、転出158,055人、県内の移動-179人、その他524人)で、前年に比べ1,608人減少した。うち、外国人の社会増減は、増減数26,569人(転入33,402人、転出26,531人、県内の移動-24人、その他19,722人)で、前年に比べ15,926人増加した。

前年の増減数28,654人(転入206,801人、転出174,326人、県内の移動-300人、その他-3,521人)と比較すると転入が22,045人減少、転出が16,271人減少、県内の移動が121人増加、その他が4,045人増加している。また、外国人は前年の増減数10,643人(転入51,012人、転出34,836人、県内の移動-59人、その他-5,474人)と比較すると転入が17,610人減少、転出が8,305人減少、県内の移動が35人増加、その他が25,196人増加している。

近年の社会増減を増減率(各年1月1日現在人口に対する社会増減総数の割合)でみると、昭和37年から50年までは2%以上の増加率で、そのうち昭和44年は、3.97%と4%に近い高い増加率であったが、昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し、平成2年以降は1%を下回った。平成23年、24年はマイナスとなったが、平成25年に増加に転じ、令和2年は0.43%となった。

図3 人口増減率の推移(昭和36年~令和2年)

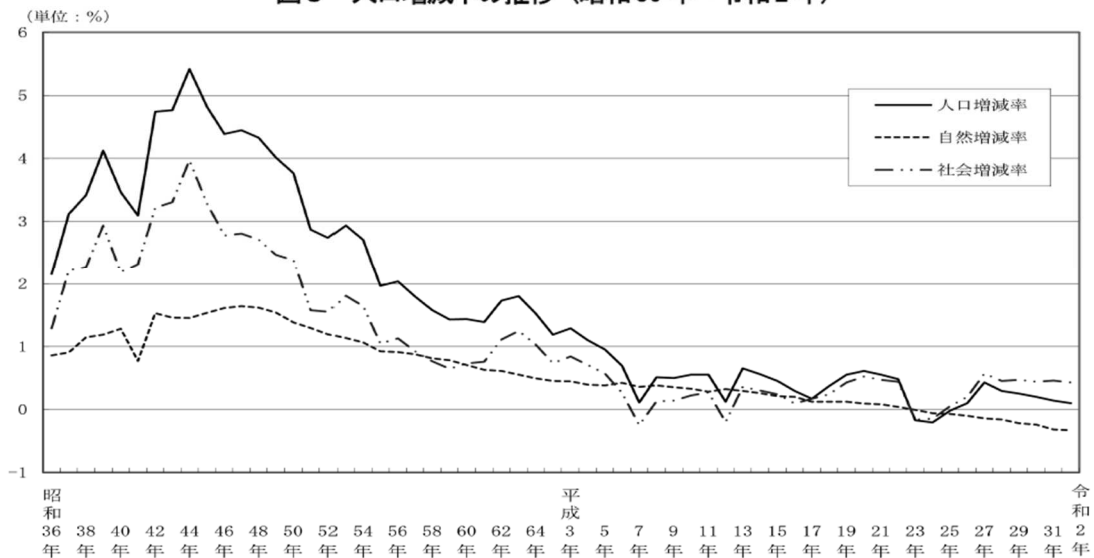


表1 月別動態別人口増減数(令和2年中)

(単位:人)

区分	人口増減数	自然増減			社会増減				
		増減数	出生	死亡	増減数	転入	転出	県内の移動	その他
1月中	-1,196	-2,906	3,750	6,656	1,710	13,149	11,087	-45	-307
2月中	-1,540	-1,937	3,066	5,003	397	13,833	12,798	-436	-202
3月中	4,339	-1,994	3,484	5,478	6,333	37,499	30,661	-242	-263
4月中	4,799	-1,569	3,674	5,243	6,368	23,794	18,589	679	484
5月中	-622	-1,410	3,197	4,607	788	9,315	8,339	-117	-71
6月中	-221	-1,143	3,538	4,681	922	10,748	9,771	42	-97
7月中	-540	-1,110	3,661	4,771	570	11,783	10,819	-1	-393
8月中	-949	-1,538	3,597	5,135	589	12,090	11,056	-50	-395
9月中	1,669	-1,292	3,540	4,832	2,961	11,619	11,132	-139	2,613
10月中	-697	-1,694	3,519	5,213	997	12,655	11,430	7	-235
11月中	1,195	-1,920	3,425	5,345	3,115	13,608	10,306	32	-219
12月中	-23	-2,319	3,213	5,532	2,296	14,663	12,067	91	-391
計	6,214	-20,832	41,664	62,496	27,046	184,756	158,055	-179	524

注) その他とは、職権による記載・消除等をいう。

なお、9月中には、基準となる国勢調査の数値を平成27年から令和2年に変更したことによる「差分」を含む。

**19 市町で人口増加
最高増減率は流山市 3.03%**

令和2年中の人口増減を市町村別にみると、19市町で人口が増加し、35市町村で減少した。増加数では流山市が5,920人で最も多く、以下、松戸市5,131人、船橋市4,029人、習志野市2,345人、八千代市2,087人と続いている。逆に、減少数では千葉市が4,514人で最も多く、以下、柏市2,671人、佐倉市2,289人、市原市906人、山武市746人の順となっている。

また、増加率では流山市が3.03%で最も大きく、以下、一宮町2.13%、印西市1.64%、習志野市1.35%、酒々井町1.24%と続いている。逆に、減少率では鋸南町が4.89%で最も大きく、以下、長南町4.21%、九十九里町2.93%、勝浦市2.54%、大多喜町2.27%の順となっている。

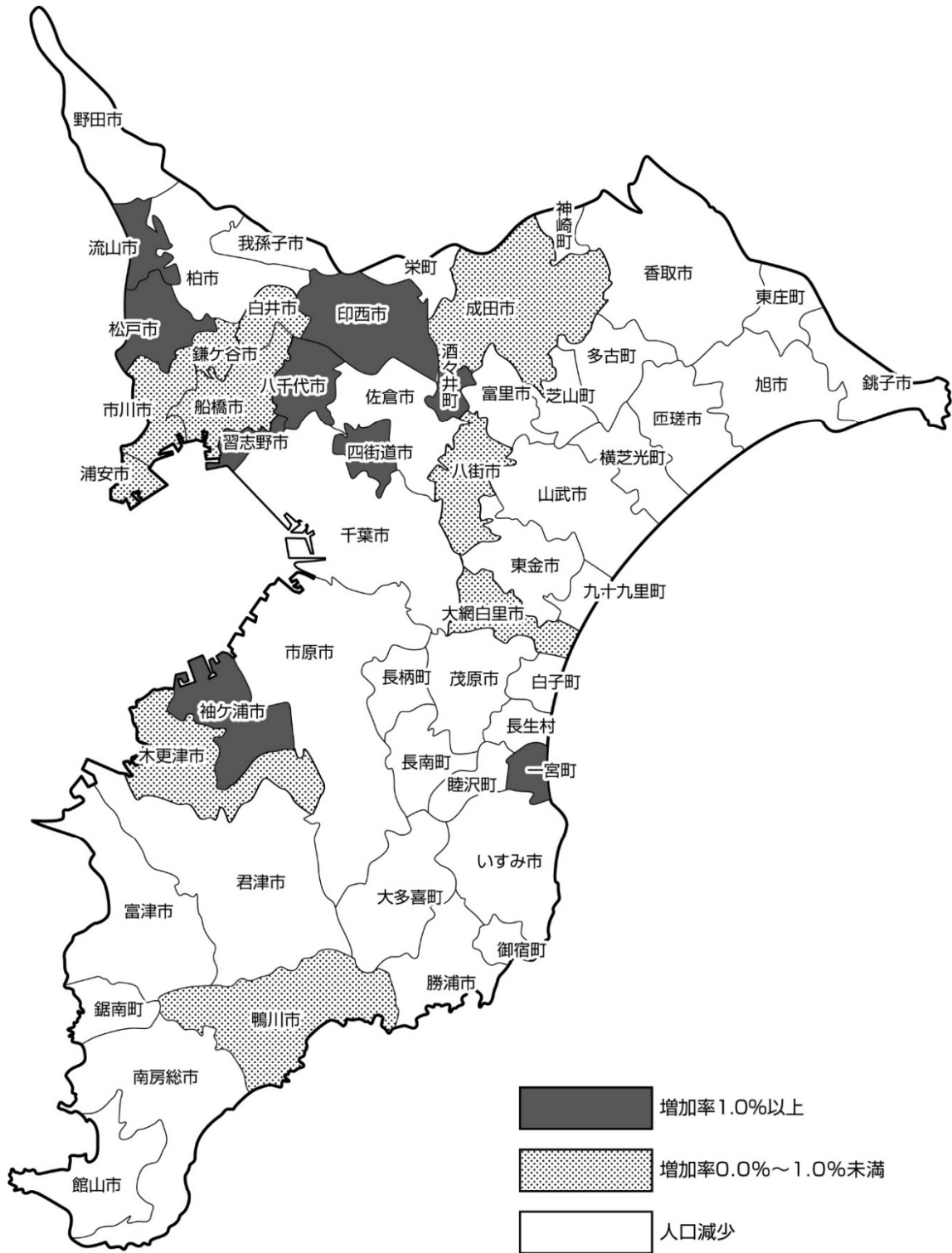
表2 人口増減数上位5市町村 (平成28年～令和2年)

順位	平成28年		平成29年		平成30年		平成31(令和元)年		令和2年	
	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数
1	流山市	4,389	流山市	4,823	流山市	5,074	流山市	4,942	流山市	5,920
2	市川市	4,184	船橋市	4,580	船橋市	4,081	柏市	4,892	松戸市	5,131
3	船橋市	4,128	市川市	3,861	柏市	3,595	船橋市	3,340	船橋市	4,029
4	柏市	3,689	柏市	3,743	市川市	2,931	市川市	2,656	習志野市	2,345
5	習志野市	3,023	千葉市	2,226	千葉市	2,217	千葉市	2,467	八千代市	2,087
順位	平成28年		平成29年		平成30年		平成31(令和元)年		令和2年	
	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数
1	銚子市	1,191	市原市	1,386	銚子市	1,374	香取市	1,367	千葉市	4,514
2	香取市	1,033	銚子市	1,297	市原市	968	銚子市	1,357	柏市	2,671
3	君津市	895	香取市	1,144	八街市	947	市原市	1,354	佐倉市	2,289
4	八街市	707	君津市	948	香取市	933	君津市	926	市原市	906
5	山武市	704	旭市	826	君津市	793	八街市	834	山武市	746

表3 人口増減率上位5市町村 (平成28年～令和2年)

順位	平成28年		平成29年		平成30年		平成31(令和元)年		令和2年	
	市町村	増加率%	市町村	増加率%	市町村	増加率%	市町村	増加率%	市町村	増加率%
1	流山市	2.50	流山市	2.68	流山市	2.74	流山市	2.60	流山市	3.03
2	印西市	2.39	印西市	2.13	印西市	2.07	印西市	2.23	一宮町	2.13
3	習志野市	1.79	袖ヶ浦市	0.97	袖ヶ浦市	1.26	柏市	1.15	印西市	1.64
4	浦安市	1.53	四街道市	0.96	四街道市	0.93	袖ヶ浦市	1.07	習志野市	1.35
5	柏市	0.89	八千代市	0.90	浦安市	0.89	四街道市	0.89	酒々井町	1.24
順位	平成28年		平成29年		平成30年		平成31(令和元)年		令和2年	
	市町村	減少率%	市町村	減少率%	市町村	減少率%	市町村	減少率%	市町村	減少率%
1	勝浦市	2.72	長南町	2.76	芝山町	2.66	鋸南町	3.03	鋸南町	4.89
2	九十九里町	2.10	勝浦市	2.73	鋸南町	2.55	長柄町	2.82	長南町	4.21
3	大多喜町	1.86	九十九里町	2.50	大多喜町	2.37	長南町	2.25	九十九里町	2.93
4	銚子市	1.86	銚子市	2.06	勝浦市	2.23	銚子市	2.25	勝浦市	2.54
5	鋸南町	1.71	鋸南町	1.94	銚子市	2.23	勝浦市	2.17	大多喜町	2.27

図4 市町村別人口増減率（令和2年1月～令和2年12月）



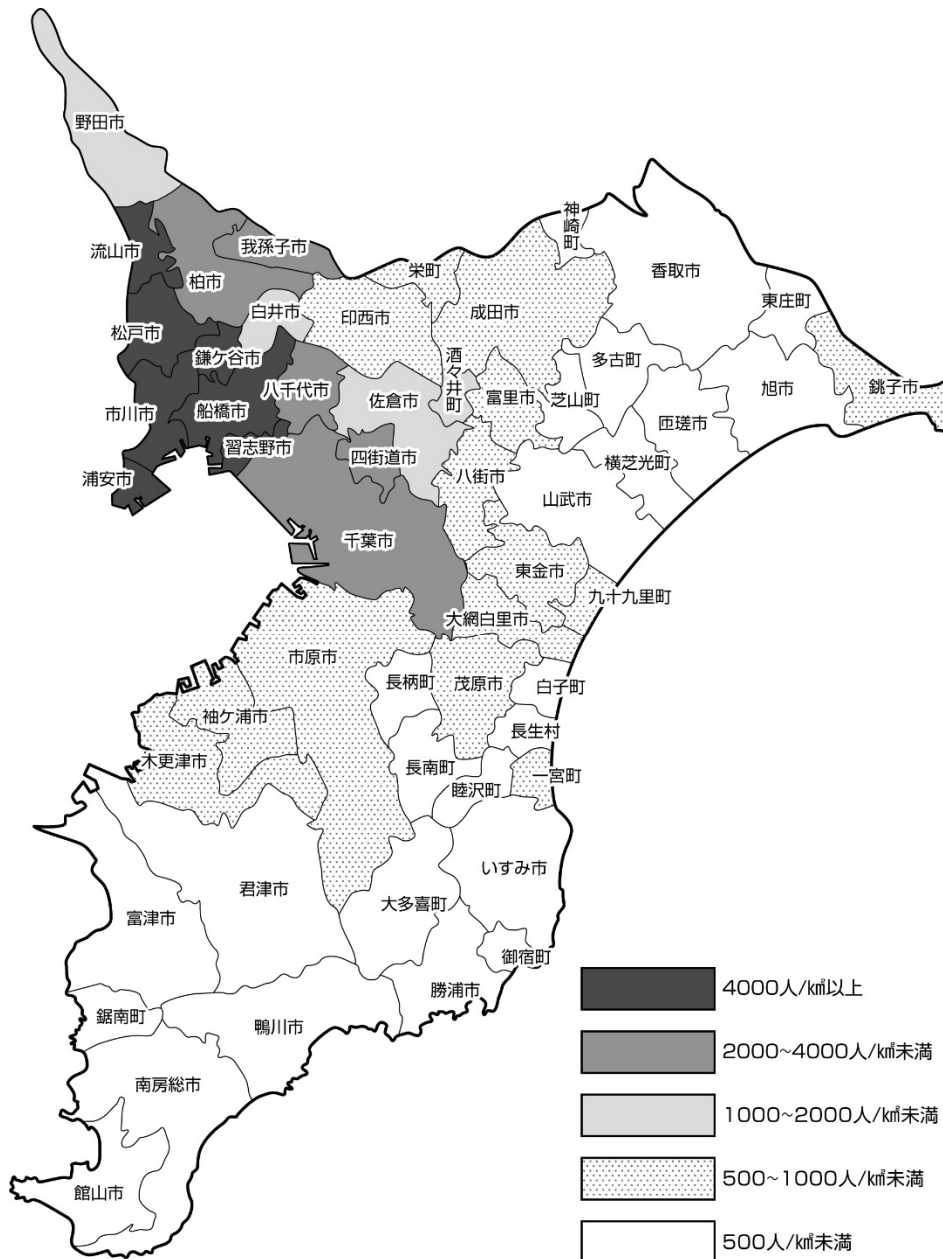
3. 人口密度

県人口密度 1,218.6 人/km²
市町村別人口密度は浦安市が
9,865.1 人/km²で最高

本県の人口密度は、令和3年1月1日現在1,218.6人/km²で、前年の人口密度(1217.4人/km²)に比べ1.2人/km²高くなった。市郡別にみると、市部1,382.0人/km²、郡部261.3人/km²で、市部は郡部の約5.3倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が9,865.1人/km²で最も高く、以下、市川市8,639.2人/km²、習志野市8,399.4人/km²、松戸市8,111.9人/km²、船橋市7,518.0人/km²と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町67.9人/km²、長南町109.7人/km²、長柄町142.6人/km²、鋸南町153.5人/km²、南房総市155.1人/km²の順となっている。

図5 市町村別人口密度(令和3年1月1日現在)



4. 世帯数

県世帯数 278 万世帯

1 世帯当たり人員は 2.26 人

令和3年1月
1日現在の本県の世帯数は
2,779,954 世帯

で、前年の世帯数 2,768,891 世帯に比べて 11,063 世帯増加し、増減率では 0.40% となり、人口増減率 0.10% よりも高い率となっている。

1 世帯当たり人員は 2.26 人で、前年の 2.27 人に比べ 0.01 人減少した。

また、1 世帯当たり人員を市町村別にみると、東庄町の 2.85 人が最も多く、以下、芝山町 2.77 人、睦沢町 2.73 人、長南町 2.72 人、匝瑳市 2.71 人と続き、逆に最も少ないのは市川市の 2.04 人で、以下、勝浦市 2.07 人、浦安市 2.14 人、松戸市 2.15 人、千葉市 2.17 人の順となっている。

県の 1 世帯当たり人員より少ないのは 12 市町で、多いのは 42 市町村となっている。

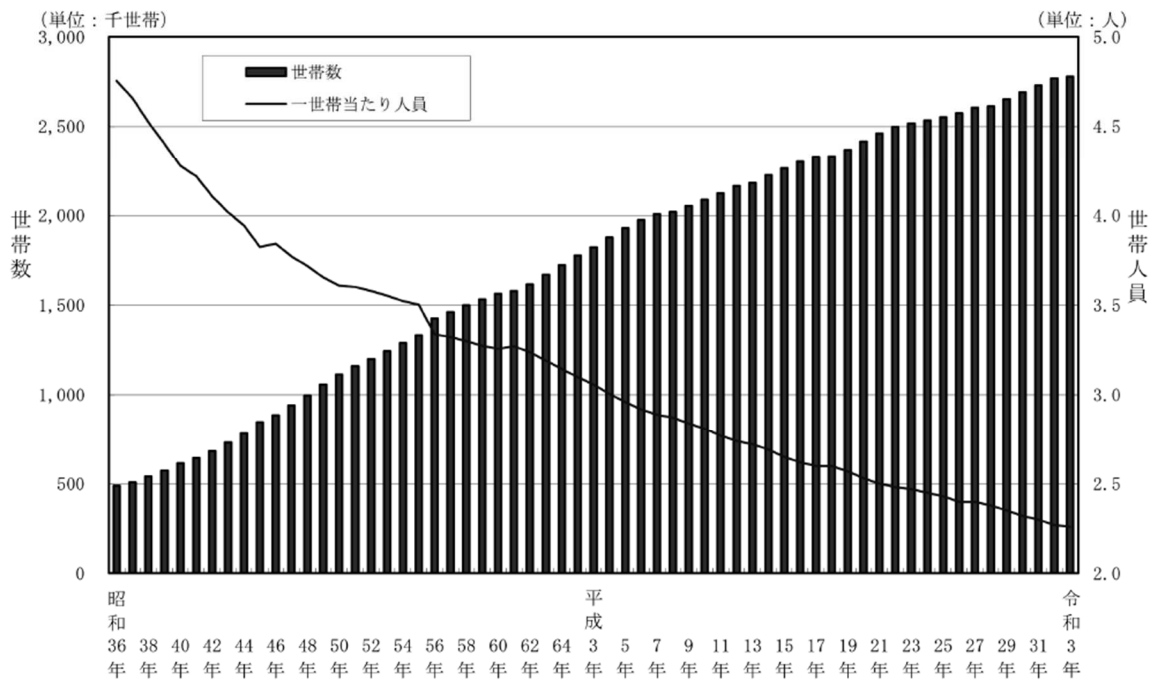
表 4 月別世帯増減数 (令和2年中)

(単位：世帯)

区分	増減数	転入	転出	その他
1月中	684	8,955	7,001	-1,270
2月中	688	9,671	8,180	-803
3月中	13,049	25,791	14,576	1,834
4月中	8,387	15,664	10,381	3,104
5月中	1,127	6,486	4,754	-605
6月中	2,317	7,455	5,328	190
7月中	1,825	7,949	6,195	71
8月中	1,058	7,482	6,209	-215
9月中	-24,186	7,921	6,579	-25,528
10月中	1,621	8,475	6,669	-185
11月中	2,700	9,760	6,310	-750
12月中	1,793	10,402	7,774	-835
計	11,063	126,011	89,956	-24,992

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。
なお、9月中には、基準となる国勢調査の数値を平成27年から令和2年に変更したことによる「差分」を含む。

図 6 世帯数及び世帯人員数の推移 (昭和36年～令和3年、各年1月1日現在)



5. 県外との人口移動

人口移動総数 34 万 3 千人
移動率 5.46%

令和 2 年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、342,811 人で前年の 381,127 人に比べ 38,316 人減少し、移動率（各年 7 月 1 日現在人口に対する移動者総数の割合）は 5.46%と、前年の 6.07%に比べて 0.61 ポイント下降した。

2万7千人の転入超過
転入超過率 0.42%

令和 2 年中の県外からの転入者数は 184,756 人（前年 206,801 人）、転出者数は 158,055 人（同 174,326 人）で、転入超過数は 26,701 人（同 32,475 人）となった。

また、令和 2 年の転入超過率（各年 7 月 1 日現在人口に対する転入超過数の割合）は 0.42%となり、前年の 0.52%に比べて 0.10 ポイント下降した。

なお、県外（46 都道府県）との関係は、42 都道府県から転入超過となり、4 県へ転出超過となっている。

表 5 年次別他都道府県間人口移動総数（平成 13 年～令和 2 年）

年次	移動数	移動率	転入超過数 (-は転出超過)	転入超過率 (-は転出超過)	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成13年	405,122 人	6.80 %	20,620 人	0.35 %	212,871 人	192,251 人	5,953,852
14年	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362
15年	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16年	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17年	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169
18年	380,885	6.27	14,845	0.24	197,865	183,020	6,073,549
19年	381,227	6.25	25,649	0.42	203,438	177,789	6,102,892
20年	376,061	6.13	30,077	0.49	203,069	172,992	6,139,750
21年	368,613	5.97	26,341	0.43	197,477	171,136	6,177,586
22年	354,989	5.73	12,669	0.20	183,829	171,160	6,199,614
23年	345,430	5.56	-11,418	-0.18	167,006	178,424	6,215,256
24年	333,281	5.38	-8,571	-0.14	162,355	170,926	6,197,944
25年	327,570	5.29	6,982	0.11	167,276	160,294	6,191,925
26年	328,341	5.30	15,435	0.25	171,888	156,453	6,195,734
27年	348,343	5.61	21,979	0.35	185,161	163,182	6,207,032
28年	347,940	5.58	28,964	0.46	188,452	159,488	6,239,018
29年	359,831	5.75	30,169	0.48	195,000	164,831	6,254,216
30年	369,647	5.90	31,191	0.50	200,419	169,228	6,267,917
平成31(令和元)年	381,127	6.07	32,475	0.52	206,801	174,326	6,277,952
令和2年	342,811	5.46	26,701	0.42	184,756	158,055	6,284,300

表 6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成 28 年～令和 2 年）

順位	平成28年		平成29年		平成30年		平成31(令和元)年		令和2年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	茨城県	1,657 人	茨城県	1,292 人	茨城県	1,512 人	茨城県	1,018 人	東京都	3,559 人
2	大阪府	1,200	福岡県	1,200	大阪府	1,276	大阪府	1,000	愛知県	1,169
3	福岡県	1,127	大阪府	886	福岡県	1,002	福岡県	966	茨城県	824
4	兵庫県	911	宮城県	805	宮城県	892	愛知県	956	大阪府	707
5	北海道	816	青森県	709	北海道	681	兵庫県	836	福岡県	618
順位	平成28年		平成29年		平成30年		平成31(令和元)年		令和2年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	東京都	1,953 人	東京都	1,165 人	東京都	1,939 人	東京都	2,374 人	神奈川県	1,160 人
2	埼玉県	887	埼玉県	646	神奈川県	1,135	神奈川県	1,886	埼玉県	552
3	神奈川県	65	神奈川県	559	埼玉県	936	埼玉県	1,298	群馬県	129
4	群馬県	13	群馬県	86	鳥取県	14	滋賀県	58	沖縄県	46
5	三重県	12					沖縄県	9		